

TOPICS
3ペガサス大阪南看護学校
遠隔授業で充実した学びが進行中学生と教員・外部講師、学生同士の
リアルタイムなコミュニケーションも！

ペガサス大阪南看護学校は、令和3年4月に開校し第1期生を迎え入れました。しかしながら、大阪府では、新型コロナウイルス感染症の感染急拡大のため、4月7日に「医療非常事態宣言」を発令。当校では、4月19日より、学生のキャンパスへの立ち入りを全面禁止とし、対面授業からインターネットによる遠隔授業（オンライン授業）に切り替えました。

遠隔授業は、学生と当校教員・外部講師が、テレビ会議システムを利用して行います。動画や音声教材など授業資料の配信はもちろん、始業時の入室確認、課題提出と確認・採点管理など。加えて、遠隔授業により学生と教員、学生同士のコミュニケーション不足などで学生が不利益を被らないよう、学生同士のディスカッションやグループワークなどをはじめ、リアルタイムにコミュニケーションをとりながら学習を進めています。

そうしたなか、7月5～6日、7～8日には、初めての看護学基礎実習Ⅰを実施予定。大阪南医療センター、馬場記念病院での実習に、学生たちは大きく胸を膨らませています。

す。実習については、当校は併存する大阪南看護学校と協力して、また、実習先の両病
コロナ禍での学びを支える教職員スタッフ
院は、徹底した感染予防対策を継続して講じ、安心・安全な学生たちの迎入れに力を注いでいます。

そして現在、当校では、来年度、新型コロナウイルス感染症の収束を期待し、第2期生の募集・入学にも目を向け、地域の「看護」を担う人材教育に準備を進めています。

OPEN CAMPUS2021

「心を育み、ともに輝く」
夏のオープンキャンパス **参加者募集！**

静かで、設備が整った学習環境、多くの実習施設、
専門性の高い講師陣など、当校を肌で感じてください！

◆来校型◆

令和3年7月22日(木・祝) 8月8日(日) 8月22日(日)

◆オンライン型◆

令和3年7月17日(土) 7月30日(金) 8月18日(水)

参加は事前予約制となっております。
ご希望の方は下記までご連絡ください。

TEL 0721-26-8270 (平日8:30～17:30)
Mail pegasus.south.osaka@gmail.com

ペガサス健診センターの
ご案内

ペガサス健診センターは、最新鋭の医療機器を使用し、
適切な診断を提供しています。
一般健診・企業健診、人間ドックなど、多彩なメニューからお選びいただけます。
お問い合わせ／072-265-6006



ペガサス地域包括ケアセンター

場所：馬場記念病院 総合案内横
時間：平日9時30分～12時まで
健康のことから在宅介護まで。多様なニーズに対応する「なんでも相談」窓口を設置しています。
まずはお気軽にご相談ください。

お問い合わせ／TEL:072-265-5558 (担当 齋藤)

「なんでも相談」
窓口あります

ペガサスグループ
株式会社ユニコ

取り扱う紙おむつは
150種類以上。
大幅な値下げも
実施中です。



●お問い合わせ
TEL:0120-062-505

私たちと一緒に働きましょう。

随時受付
しています

介護職員募集中！ 正職員採用

いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学
などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

障がいをお持ちの方、一緒に働きませんか

※障がい者手帳をお持ちの方。正職員への雇用変更もあり
業務は、A)書類の印刷、製本 B)洗濯 C)清掃
D)データ入力 E)資料作成等。

お問い合わせ／馬場記念病院 人事課 TEL:072-265-9089

社会医療法人ペガサス公式 Facebook ページ
<https://www.facebook.com/s.m.c.pegasus>

ペガサスマンモサデー

開催予定

【開催日】(予定)

7/11(日)
8/8(日)

【開催時間】

9時～17時

【お問い合わせ】

TEL:072-265-6006
(ペガサス健診センター)

PEGASUS
NEWS

ペガサスニュース

発行人/馬場武彦
発行/社会医療法人ペガサス
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
<http://www.pegasasu.or.jp/>
編集/ペガサス広報委員会 編集グループ
編集協力/HIPコーポレーション
発行/令和3年7月1日

Vol.97

ペガサスの新しい看護を切り拓きます

馬場記念病院とペガサスリハビリテーション病院に、新しい看護部長が誕生！
ペガサスで学び育った二人が、ペガサスの新しい看護を切り拓きます。

患者さまの生活、ご家族、社会的背景まで
目を配る、一段階上の看護師集団をめざして。

馬場記念病院 看護部 部長
高橋 陸子

馬場記念病院の看護部には、患者さまのために良いと思うことは、何でもする、すぐに動く、という風土があります。緊急入院が必要な患者さまをすぐに受け入れる。夜勤帯で多忙な病棟には、部署を超えて速やかにサポートし合う等等。一つひとつが、患者さまの速やかな治療、安心の療養に繋がる事例であり、師長同士、また、部署間の強い連携がこれらを可能にしています。

そうした師長、看護師を纏め上げる大役を、この度、担うことになりました。私

がめざすのは、今より一段階上の看護師集団。身体的なケアだけではなく、生活、ご家族、社会的背景にまで目を配り、患者さまを支えられる看護師の育成に全力を注いでいきます。

その一方で、時代の変化を素早くキャッチし、自分たちのあり方を常に見つめ直す。そんな馬場記念病院看護部として、いつのときも患者さま、地域の皆さまに、寄り添い続けていきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

多職種協働の一員として「考える看護師」を
育て、より質の高い看護提供に繋がりたい。

ペガサスリハビリテーション病院
看護部 部長
紀ノ岡真弓

患者さまがより速やかに、より円滑に社会復帰、また、在宅に移行できるよう、生活を見据えたりリハビリテーションを集中的に提供するの、ペガサスリハビリテーション病院です。さまざまな専門職が集まりチームを組み、患者さまを24時間サポートしていますが、この多職種協働で、最も患者さまに近い存在なのが、看護師。看護ケアの提供だけではなく、機能訓練などにも仕事の範囲は広がっています。その看護師たちの纏め役の任を受け、今は身が引き締まる思いがしています。

この病院の看護部で、私が力を入れたのは、「考える看護師」の育成です。患者さまの立場に立って考える。他の職種とのより強い連携を考える。施設間の連携・交流を考える。部署でのグループワーク、オンライン活用での多職種事例検討会をはじめ、さまざまな研修会参加など、一つでも多くの学ぶ機会を提供し、より質の高い看護の提供に繋がっていきたく思います。

どうぞよろしく願いいたします。

赴任医師紹介

令和3年4月に
馬場記念病院に赴任した
医師をご紹介します。柴田将伍
整形外科

出身は大阪市立大学で3年ぶりに当院に戻ってきました。今年度より整形外科専門医として勤務します。患者さまに寄り添った医療を提供できるように努力します。

南野弘明
消化器科

2016年から3年間勤務させていただきましたので、2年ぶりの復帰となります。地域の先生方には内視鏡治療や化学療法症例がございましたら、紹介いただけますと幸いです。

森 逸
整形外科

一般外傷を中心に診療しております。患者さまへの病状や治療内容説明を丁寧に行うことでニーズにあった診療を提供し、地域医療に貢献できるよう精進して参ります。

河緒拓弥
整形外科

外傷を中心に診療しています。患者さま一人ひとりに最適な治療計画を考え、ご提案いたします。地域の皆さまに貢献できるよう日々全力で診療に精進して参ります。

庄司太一
外科

多根総合病院で5年間、大阪市立大学医学部附属病院で2年間の勤務を経て、当院に赴任しました。診療科、診療部間での垣根のない医療をめざし頑張ります。よろしくお祈りします。

入江耕平
脳神経外科

広島大学を卒業後、広島の総合病院などに勤務してきました。救急医療・脳神経外科診療で名を馳せる馬場記念病院で地域の皆さまのために力を尽くしていく所存です。

稲田考浩
麻酔科

4月より麻酔科医として勤務しています。患者さまの手術中の安全・快適性の確保だけでなく、手術後の生活も見据え、速やかな回復につながるよう努めてまいります。



地域医療のために頑張ります！

保育ニーズの高まり、また、後者では、これまで堺市には対応事業所が少ないことから、グループ内に、多様な医療従事者を抱える風の馬には、充実した療育提供の担い手として、大きな期待が寄せられています。

すでに、障害児通所支援事業所は建設が完了。こども園は令和3年秋ごろから建設開始。こどもたちの未来を見つめ、風の馬とペガサスグループの新たな挑戦が始まります。

令和4年4月
開園予定ペガサス
福泉中央こども園
(仮称)TOPICS
1 社会福祉法人風の馬 (仮称)
ペガサス福泉中央こども園を開園予定堺市から事業を継承。医療的ケア児も対象。
さらに、重症心身障害児の通所支援も実施。

ペガサスグループの社会福祉法人風の馬では、堺市よりこども園の事業を継承し、令和4年4月に、幼保連携型認定こども園として、「ペガサス福泉中央こども園(仮称)」を開園します。こども園とは、幼児教育・保育を一体的に行う施設で、0歳から就学前のこどもが対象です。

風の馬が新たに運営するこども園の特色は、二つあります。一つは、健常児だけでなく、医療的ケア児をも対象とすること。もう一つは、重症心身障害児への障害児通所支援事業所を併設する点にあります。前者では、堺市での

TOPICS
2 ペガサスグループ
第8回 南大阪リハビリテーション・ケア学会を開催南大阪リハビリテーション・ケア学会開催。
参加者の健康、安全・安心を第一に考え、
オンライン形式にて実施しました。

ペガサスの「南大阪リハビリテーション・ケア学会」は、南大阪地域においてリハビリテーションに関わる全職種のレベルアップを図り、市民の生活向上に寄与することを目的としています。コロナ禍である今年も、オンライン形式にて実施。医療従事者たちのリハビリテーションへの熱い思いが繋がった一日となりました。

参加申込・一般演題は、
これまでを上回る勢い。

ペガサスでは、2021年4月24日(土)、馬場記念病院を会場にした「第8回 南大阪リハビリテーション・ケア学会」を開催しました。本来、昨年開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、一年延期しての開催でした。今年についても、学会運営委員会では、コロナ禍でいかに参加者の健康と安全を守るかを、ぎりぎりまで協議。初めての試みではありますが、外部からの参加はオンライン形式としました。

参加申込・一般演題数は、対面ではないにも関わらず、これまでの学会を上回る勢いがあり、当日の参加者は484名、発表演題数は65。関西圏だけではなく、西は熊本県、東は愛知県からもご参加いただきました。

二つの貴重な特別講演。
熱心に耳を傾けました。

今回の学会には、和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座教授の田島文博氏、厚生労働省から老健局保健課・高齢者リハビリテーション推進官の木下翔司氏、保険局医療介護連携政策課・課長(医政局、老健局 兼任)の山下護氏を、特別講師にお招きしました。

田島氏は、「プロフェッショナルによる超リハビリテーション治療」をテーマに、急性期におけるリハビリテーションの



重要性を、「安静は麻薬である」という鋭い切り口でご説明。また、厚労省のお二人は、「令和3年度介護報酬改定について」をテーマに、改定の目的、方向性などについて、解り易く、丁寧にお話しいただきました。参加者にとって、二つの特別講演は、自らの日々の業務のあり方を振り返り、見つめ直す、貴重な機会となったようです。

知識の向上に、
大きく繋がる演題発表。

一般演題は、参加者一人ひとりが、また、チームを組んで、事例研究、取り組みなどを纏め発表しています。

学会発表の準備は、多忙な医療従事者にとって、決して簡単ではありません。しかし、演題を纏め上げることを通して、成果と問題、課題の発見に繋がり、知識の向上に結び付いていきます。ペガサスでもリハビリスタッフだけではなく、多様な部署・専門職が発表、参加することで、職員教育面でも大きな成果を得ることができています。

こうしたなかから、最優秀賞には社会医療法人三栄会・ツカザキ病院(兵庫県姫路市)の向井春佳さん(作業療法士)が選ばれたほか、八名の優秀賞が選出されました。

オンラインでの新しい学会開催。運営委員会はもちろん、馬場記念病院情報通信推進室の多大な尽力も合わせ、無事に終えることができました。ペガサスでは、コロナ禍での学会開催という貴重な経験をさらなる地域貢献に活かしていきます。



コロナ禍での運営。初めてのオンライン開催を成功に導いたのには、バックヤードでのペガサススタッフの奮闘がありました。